

2022年2月28日

各 位

株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス
代表取締役社長 川井 潤
(コード番号：3387 東証第一部)
問い合わせ先 取締役 CFO 経理部管掌 大内 源太
電話 03-5488-8022

資金の借入及び返済に関するお知らせ

当社は、下記のとおり短期借入金及び永久劣後特約付ローンの返済を行う一方、コミットメントラインの再設定及び長期資金の借入を実施いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 本件の目的及び背景等

当社は、新型コロナウイルス感染症による事業への影響に鑑み、グループ経営の安定化を図るべく、2020年3月から5月にかけて資金の借入（以下、「コロナ借入」という。）及びコミットメントラインの設定を、また2021年2月には財務基盤の強化を目的に永久劣後特約付ローン（以下、「永久劣後ローン」という。）の調達を行いました。

その後、新型コロナウイルス感染症による影響は、増減を繰り返しており、足元では31の都道府県にまん延防止等重点措置が発令され、当社を含む外食企業の売上収益には少なからず影響を及ぼす状況となっております。しかしながら、当社におきましては、政府や各自治体からの営業時間短縮や、酒類提供禁止の要請に真摯に対応する一方で、固定費を圧縮する運営の強化と、不採算店舗を中心とした退店を徹底することで、筋肉質なコスト構造への転換を推し進め、併せて、雇用調整助成金や時短営業等に対する協力金の申請を行うことで、新型コロナウイルス感染症の影響による売上収益の減少に対応できる体制を整備することができております。

当社は、中期経営計画において2023年2月期からをコロナ禍からの再成長期間と位置づけておりますが、財務面においても以下の一連の借入金の圧縮等を本日実施することで、債務圧縮による金利負担の軽減と、財務の安定性の向上を図ることといたしました。

まず、コロナ借入のうち一部子会社借入を除く306億円の短期借入金を返済し、流動負債を大幅に圧縮する一方で、新型コロナウイルス感染症の影響が継続していることに鑑み、必要な場合に資金を機動的に確保するため、コミットメントラインを増額再設定いたしました。また、永久劣後ローンにつきましては、足元の業績見通し及び2021年11月から12月において実施した新株式発行により162億円を調達したことを踏まえ、手元資金と合わせて150億円全額を返済いたしました。さらに財務の安定性向上を図るため、100億円の長期運転資金借入を実施しております。

2. 借入金の概要

	シンジケートローン		株式会社日本政策 投資銀行からの借入
	トランシェA	トランシェB	
(1) 組成金額	70億円	60億円	40億円
(2) 期間	1年	7年	7年
(3) 借入形態	コミットメント ライン	タームローン	タームローン
(4) 効力発生日 借入日	2022年2月28日	2022年2月28日	2022年2月28日
(5) 担保	無	無	無
(6) アレンジャー	株式会社みずほ銀行		/
(7) コ・アレン ジャー	株式会社三井住友銀行		
(8) エージェント	株式会社みずほ銀行		
(9) 参加金融機関	株式会社みずほ銀行、株式会社三井住 友銀行等の複数の金融機関		

3. 今後の見通し

上記一連の取引による、2022年2月期連結業績へ与える影響は軽微であります。

以 上